

ICT活用工事積算要領（基礎工編）（令和6年4月改定版）

ICT活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

① 工事価格

・ 共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600万円以下	600万円を超え20億円以下		20億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
港湾構造物工事	7.97% (7.96%) [7.93%]	134.0 (134.0) [134.6]	-0.1808 (-0.1809) [-0.1814]	2.79% (2.78%) [2.77%]

※基礎工のみを行う工事の場合は、（ ）内の率を適用する。

※ICT海上地盤改良工を含む工事を発注する場合は [] 内の率を適用する。

対象金額	600万円以下	600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
海岸工事	13.07% (12.50%)	407.7 (481.3)	-0.2204 (-0.2339)	4.23% (3.78%)

※基礎工のみを行う工事の場合は、（ ）内の率を適用する。

共通仮設費率の算定式

$$K r = a \cdot P b \text{ (小数3位四捨五入)}$$

ただし、

K r : 共通仮設費率 (%)

P : 共通仮設費率の算出対象額 (円)

a、b : 定数値

② 「ICT施工」代価表

作業船乗組員の働き方改革の実現に向けた積算上の試行的取組の対象工事については、就業時間等を見直して適用するものとする。

(1) 捨石投入 1,000m³当り

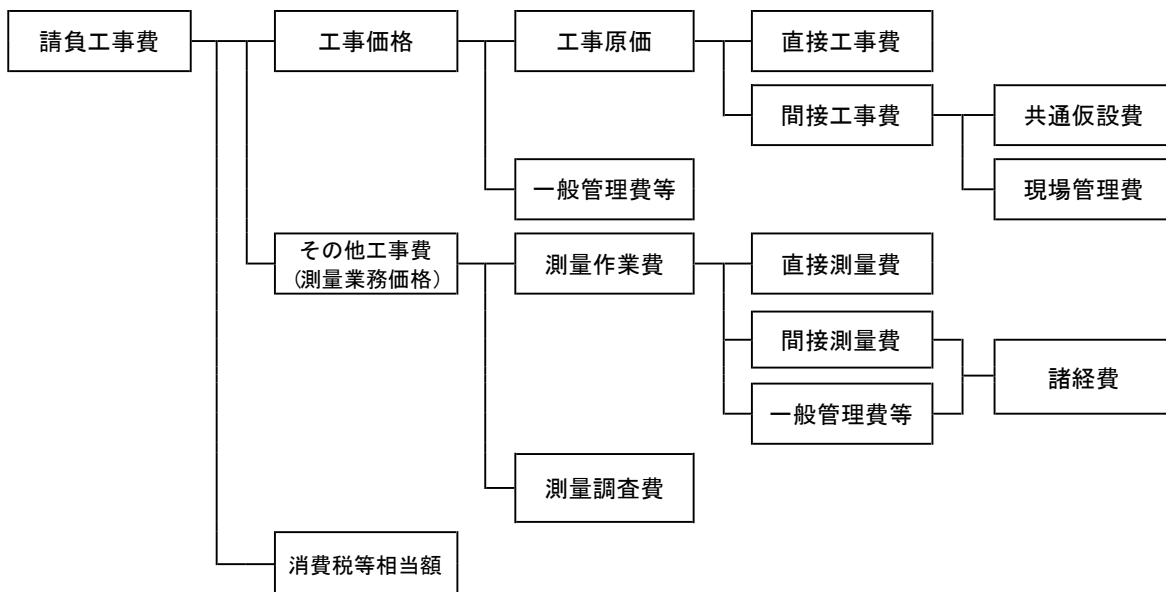
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
捨 石	～ kg/個	m ³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船 運転	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/Q	就業8H
施工管理システム		日	1,000×(1+W/100)/Q	損料
雑 材 料				

(2) 機械均し 1日 (m³) 当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
捨石均し船 運転	1,000PS 型	日	1	運 6H/就 10H
揚 錨 船	鋼 D 15t 吊	〃	1	就業 8H
潜 水 士 船	D270PS 型 3~5t 吊	〃	1	就業 8H
引 船	鋼 D 1,500PS 型	〃		運 2H/就 8H
雑 材 料				

- ③ 測量業務価格（3次元起工測量及び施工履歴データによる出来形管理（機械均しの場合）の費用）
- ・別紙により算出する。なお、別紙記載の『基準』とは『港湾請負工事積算基準第3部』である。
 - ・「成果物」「諸経費」は、3次元起工測量及び施工履歴データによる出来形管理（機械均しの場合）の直接測量費の合計を対象金額として算出する。
 - ・測量調査費については、別紙により算出する。
 - ・「その他原価」「一般管理費等」は、3次元設計データ作成の直接人件費、業務原価を対象として算出する。

- ④ 算出した③測量業務価格をその他工事費に計上し、①工事価格と合算する。



ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(起工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価					
数量計算等	起工時					
	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単位	数 位	摘 要
	測量準備	測 量 準 備		式	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位の場合は小 数3位四捨五入とする。	四捨五入
		機材運搬		〃		
	水深測量	検潮基準測定		式		
		検潮	測定日数	日		
		検潮資料整理	測定日数	〃		
		艀装テスト		式		
		マルチビーム測深	測深面積	km2		
	成果	起工時データ整理	測深面積	〃		
3次元設計データ作成			施設			
成果品			式			
① 測量準備	測量準備 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	主任技師	測 量	人	1	(外業1) ※2-1=1	
	技 師	〃	〃	1.5	(外業1.5) ※3-1.5=1.5	
	技師補	〃	〃	1	(外業1) ※2-1=1	
	助手	〃	〃	0.5		
雑材料		%	1			
※保安部等関係部署調整は元請けが行うものとし、外業分を控除 ※上記には、竣工時の測量準備も含むものとする。なお、これによりがたい場合は別途考慮する。 ※関係機関に発注者は除く。						
② 機材運搬	機材運搬 (2往復当り) 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	測量補助員		人	2		
	トラック	2t積	日		標準運転時間	
	雑材料		%	1		
※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2 機材運搬による。						
③ 検潮基準測定	検潮基準測定 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	主任技師	測 量	人	1		
	技 師	〃	〃	1		
雑材料		%	1			
※基準2編1節3-4-2 検潮基準測定により、必要に応じ計上する。						
④ 検潮	検潮 1日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交通車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	助手	測 量	人	0.3		
	雑材料		%	1		
※基準2編1節3-4-3 検潮により、必要に応じ計上する。						

ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(起工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑤ 検潮資料整理	検潮資料整理 10日当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	技 師	測 量	人	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	1	
	雑 材 料		%	1	
⑥ 艀装テスト	艀装テスト 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1.5	
	技 師 補	〃	〃	1.5	
	助 手	〃	〃	1	
	測 量 船 (運 転)	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
	GNSS		〃	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	1	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-2 艀装テストにより、損料等を計上する。					
⑦ 測深	測深 1日当り(km ²)				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	測 量 船 (運 転)	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	0.5	
	GNSS		日	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	2	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-3 マルチビーム測深 の作業能力、損料等により計上する。 受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。					

ICT基礎工に適用する測量歩掛について

(起工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価				
⑧ 測深データ整理	起工時データ整理 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	主任技師	測 量	人		作業能力の算定による
	技 師	〃	〃		〃
	技 師 補	〃	〃		〃
	雑 材 料		%	4	電算機含む
	名 称	マルチビーム測深			摘 要
	主任技師	3+1.3×A			A:測深面積(k㎡)
	技 師	4+1.2×A			
	技 師 補	5+12.3×A			
※基準2編1節 参考資料-2 2-5-1 報告書作成 により端数処理を行う。					
⑨ 3次元設計データ作成	3次元設計データ作成 1施設当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	主任技師	設 計	人	1	
	技 師 A	〃	〃	1.5	
	技 師 B	〃	〃	1.5	
	技 師 C	〃	〃	1	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品費(電算費を含む)は、直接人件費の3%を標準とする。 ・対象施設が複数ある場合は、施設毎の数量とする。 ・測量調査費として計上を行う ・発注者が3次元データを提供できる場合は計上しない。 				
⑩ 成果報告	成果報告 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	業務成果品費		式	1	
※基準2編1節3-5-2 業務成果品により計上する。					

ICT基礎工に適用する施工履歴データを用いた出来形管理の歩掛について

(竣工時)

項目	ICT基礎工事実施に使用する特定代価					
数量計算等	竣工時(施工履歴)					
	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単 位	数 位	摘 要
成果	施工履歴データ整理	測深面積	km2	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のものは 小数3位四捨五入とする。		四捨五入
① 施工履歴データ整理	(参考歩掛)					
	施工履歴データ整理 1式当り					
名 称		形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
主任技師		測 量	人		作業能力の算定による	
技 師		〃	〃		〃	
技師補		〃	〃		〃	
雑材料			%	4	電算機含む	
名 称		施工履歴データ整理		摘 要		
主任技師		4+0.6×A		A:測深面積(km ²)		
技 師		10+5.1×A				
技師補		9+4.6×A				
※基準2編1節 参考資料-2 2-5-1 報告書作成 により端数処理を行う。						